

株式会社メイワ

2014年度環境活動レポート (対象期間：2014年4月～2015年3月)



作成日：2015年5月8日

□ごあいさつ

当社は「アイデアとテクノロジーの融合」を目指し、冷熱事業、自動機事業の2つの柱で、品質管理を重視し、開発を続けてきました。徹底したニーズ志向で、時代の要求に応える製品づくりに努めています。

社訓である「個性を尊重し、特徴ある企業に高めよう」「豊かな人間関係、生活の向上を目指し社会に貢献しよう」を達成するため、常に環境の保全を意識し、環境に配慮した製品づくりを行い、豊かな循環型社会の構築に貢献します。

株式会社メイワ

代表取締役 高橋 正和

株式会社メイワ 環境方針

<基本理念>

わが株式会社メイワは、地球環境の保護・保全・改善が人類共通の最重要課題であることを深く認識します。

当社が行う事業活動において、全社一丸となって地球温暖化の防止、資源循環の促進ならびに環境への汚染節に努める活動を実施します。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①当社の全事業活動において、環境影響を考慮し、環境負荷の低減に努めます。
 - ②この環境改善活動は、継続的に実施し、廃棄物の削減、汚染予防、及び省資源・省エネルギーに努めます。
 - ③環境にやさしい製品の開発、製造に努めます。
 - ④環境改善への取組は、全従業員へ周知させるとともに、公表し、誰もが当社の取り組みを閲覧できるようにします。
3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。
4. この環境方針は、全従業員に周知・徹底します。

制定日：2007年10月1日

代表取締役社長
高橋 正和

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社メイワ

代表取締役社長 高橋 正和

(2) 所在地

本社・本社工場 和歌山県紀の川市長田中345-1

和歌山工場 和歌山県和歌山市島86-1

東京営業所 東京都港区芝1-11-16 ニチリンビル3階

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務グループ グループマネージャー 岡 徳治

TEL : 0736-73-7300

担当者 総務グループ 岡井 延彦

TEL : 0736-73-7300

(4) 事業内容

機械器具製造業

主要製品：圧力容器、熱交換器、冷凍機器、自動包装機械 他

(5) 事業の規模

製品出荷額 47億19百万円（2014年度実績）

| | 本社 | 和歌山工場 | 東京営業所 |
|-----------|--------|-------|-------|
| 従業員 | 121名 | 13名 | 2名 |
| 延べ床面積 (㎡) | 9987.2 | 1257 | 51.57 |

(6) 事業年度

2014年4月～2015年3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社メイワ
本社・本社工場
和歌山工場
東京営業所

対象外：なし

活動：機械器具の製造

□主な環境負荷の実績

| 項目 | 単位 | 2012年 | 2013年 | 2014年 |
|-----------|--------------------|---------|---------|---------|
| 二酸化炭素総排出量 | kg-CO ₂ | 630,392 | 617,118 | 620,261 |
| 廃棄物排出量 | kg | 119,118 | 123,055 | 130,443 |
| 一般廃棄物量排出量 | kg | 24,050 | 31,510 | 35,120 |
| 産業廃棄物排出量 | kg | 95,068 | 91,545 | 95,323 |
| 総排水量 | m ³ | 15,401 | 12,930 | 13,988 |

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.311 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

| 項目 | 年度 | 基準値 | 2014年 | | 2015年 | 2016年 | 2017年 |
|------------------|--------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | (基準年度) | (目標) | (実績) | (目標) | (目標) | (目標) |
| 電力の二酸化炭素排出量削減 | kg-CO ₂ | 400,892 | 394,878 | 393,872 | 392,874 | 390,869 | 388,865 |
| | 基準年比 | (2012年) | 98.5% | 98.2% | 98.0% | 97.5% | 97.0% |
| LPGの二酸化炭素排出量削減 | kg-CO ₂ | 177,435 | 174,773 | 175,633 | 173,886 | 172,999 | 172,112 |
| | 基準年比 | (2012年) | 98.5% | 99.0% | 98.0% | 97.5% | 97.0% |
| 自動車燃料の二酸化炭素排出量削減 | kg-CO ₂ | 41,889 | 41,263 | 43,192 | 41,054 | 40,844 | 40,635 |
| | 基準年比 | (2012年) | 98.5% | 103.1% | 98.0% | 97.5% | 97.0% |
| 一般廃棄物の削減 | kg | 24,050 | 23,689 | 35,120 | 23,569 | 23,449 | 23,329 |
| | 基準年比 | (2012年) | 98.5% | 146.0% | 98.0% | 97.5% | 97.0% |
| 可燃廃棄物の削減 | kg | 3,145 | 3,098 | 3,959 | 3,082 | 3,066 | 3,051 |
| | 基準年比 | (2012年) | 98.5% | 125.9% | 98.0% | 97.5% | 97.0% |
| 廃油・汚泥の削減 | kg | 9,210 | 9,072 | 3,400 | 9,026 | 8,980 | 8,934 |
| | 基準年比 | (2012年) | 98.5% | 36.9% | 98.0% | 97.5% | 97.0% |
| 廃プラスチックの削減 | kg | 2,540 | 2,502 | 2,669 | 2,489 | 2,477 | 2,464 |
| | 基準年比 | (2012年) | 98.5% | 105.1% | 98.0% | 97.5% | 97.0% |
| 節水 | m ³ | 15,401 | 15,170 | 13,988 | 15,093 | 15,016 | 14,939 |
| | 基準年比 | (2012年) | 98.5% | 90.8% | 98.0% | 97.5% | 97.0% |
| グリーン購入 | 購入率 | 38.1% | 39.0% | 43.0% | 40.0% | 41.0% | 42.0% |
| | | (2013年) | 102.4% | 112.9% | 105.0% | 107.6% | 110.2% |

※化学物質については、生産と連動しており、削減対象と出来ないため、適正管理に努めます。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ほぼできた △あまりできなかった ×全くできなかった

| 取り組み計画 | 達成状況 | 次年度 | 評価（結果と次年度の取組内容） |
|----------------------------|------|-----|---|
| 電力による二酸化炭素排出量の削減 | | | |
| 数値目標 | ◎ | | |
| ・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃） | ○ | 継続 | 計画通り事務所棟に省エネタイプの空調を購入。不使用時の消灯の徹底が継続されており、大きな成果を上げている。 |
| ・不要時の消灯 | ◎ | 継続 | |
| ・空気圧縮機のエア漏れ点検・修理 | ○ | 継続 | |
| ・省エネ空調の導入 | ○ | 継続 | |
| LPGによる二酸化炭素排出量の削減 | | | |
| 数値目標 | × | | |
| ・省エネ表示を行う。 | △ | 継続 | 生産量増加により、使用量が大幅増。生産量に左右されない評価方法を検討する。 |
| 自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減 | | | |
| 数値目標 | × | | |
| ・エコドライブ | ○ | 継続 | 資材配送業務が無くなり、営業活動による二酸化炭素排出が主となる。効率的なルート営業を心掛ける。 |
| ・効率的なルートで配送 | △ | 継続 | |
| ・積載オーバーをしない | ○ | 継続 | |
| 一般廃棄物の削減 | | | |
| 数値目標 | × | | |
| ・分別の徹底 | ○ | 継続 | 生産量増加により、部材の廃梱包材が増加。通箱化等を検討し、配送梱包材の削減を目指す。 |
| ・裏紙使用の徹底 | ○ | 継続 | |
| 産業廃棄物（可燃廃棄物）の削減 | | | |
| 数値目標 | × | | |
| ・分別の徹底 | ○ | 継続 | 体積把握から重量把握に変更し、正確な排出量計測が出来るようになった。 |
| ・重量把握開始 | ○ | 継続 | |
| 産業廃棄物（廃油・汚泥）の削減 | | | |
| 数値目標 | ○ | | |
| ・発生量の抑制 | ○ | 継続 | 工程ロスを推し進め、廃棄物の削減が出来た。 |
| 産業廃棄物（廃プラ）の削減 | | | |
| 数値目標 | × | | |
| ・発生量の抑制 | △ | 継続 | 樹脂加工の効率化を行い、排出量を削減する。 |
| 節水 | | | |
| 数値目標 | ○ | | |
| ・検査水の循環再利用 | × | 断念 | 循環再利用は断念。オーバーフロー水の供給自動化の範囲を今後広げていく。 |
| ・オーバーフロー水の供給自動化 | △ | 継続 | |
| グリーン購入 | | | |
| 数値目標 | ◎ | | |
| ・事務用品グリーン購入の呼びかけ | ○ | | 社内にグリーン購入を呼びかけ、効果が出ている。 |

□環境関連法規等の遵守状況及び違反訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

| 適用される法規制 | 適用される事項（施設・物質・事業活動等） |
|-----------|---------------------------|
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃油等） |
| 騒音・振動規制法 | 空圧機、送風機 |
| 消防法（危険物） | 塗料・シンナーの保管 |
| フロン回収破壊法 | 業務用空調機、エアドライヤ |
| 自動車リサイクル法 | 営業用乗用車、トラック |

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21活動の2年目となり、各種活動が活発に行われている。従業員の環境活動に対する意識が向上し、日常業務での環境への負荷低減活動が行われ、着実に成果が出てきている。

この調子でエコアクション21活動を推進し、環境面から社会貢献に努めていく。

□環境活動の紹介

- ・太陽光発電（100kW）を設置し、環境活動に努めています。
- ・工場周辺に緑化地帯を設け、環境に配慮しています。
- ・LED照明・省エネタイプ空調等を積極的に採用し、CO2排出量削減に繋がっています。